

生涯スポーツ とやま

発行日/平成8年9月
発行/富山県生涯スポーツ協議会
〒939富山市秋ヶ島183富山県総合体育センター内
☎0764-29-5455
印刷/榊なかたに印刷



総合開会式 アトラクション/女声合唱
「クール・クロア」「ヴォーチェ・フォンターナ」指揮:中村義朗

第5回県民スポーツ・レクリエーション祭夏季大会

第5回大会
記念特集



総合開会式 参加者代表宣誓

第13号
1996

元関脇 麒麟児

北陣和春氏「継続は力なり」を 演題に記念講演

記念講演

県民スポレク祭の第5回大会開催を記念して、元関脇麒麟児 北陣和春氏を招いて記念講演会が開催された。北陣親方の現役時代の映像を見た後、大相撲の姿、相撲との出会い、苦しい稽古、部屋の生活の様子など一般の人々に知られていない苦労話があった。ユーモアを交えた講演は、聴衆を魅了した。



きたじん かずはる
北陣和春氏

第5回大会記念シンポジウムを開催!!

「2000年とやま国体」の開催を4年後に控え、「日本一の健康・スポーツ県」に挑戦している本県では、幼児から高齢者まで誰でもが、いつでも気軽にスポーツに親しめるような「生涯スポーツ社会」の形成に向けて、スポーツ施設の設備・充実にすぐれた指導者の養成・確保やスポーツ活動の機会の拡充などの各種施策が実施されているところである。

このシンポジウムでは、県民の多様化・高度化の傾向にあるスポーツニーズに対応し、県民のだれでもが生涯の各時期にわたり、それぞれの体力、年齢、目的等に応じて、いつでも、どこでも、スポーツに親しむことができる豊かなスポーツライフを送ることができるように、今後のスポーツ・レクリエーションへの参加機会の在り方や、生涯にわたって継続的にスポーツに親しむことができるスポーツ環境について意見が交わされた。

◎北陣 和春 (元関脇・麒麟児)

プロスポーツの立場から、相撲との出会い、相撲部屋の生活とアマチュアスポーツとの比較、今後の相撲の振興について発言。

◎溝口 進 (福野町長)

町内各地区のスポーツクラブ連合の結成、体育協会、体育指導委員協議会が相互に連携するFASCの設立の組織の育成や各種スポーツ施設の整備などを通して、スポーツに参加しやすい環境づくりに努めてきた。本年度からは、文部省の総合型地域スポーツクラブ育成モデル事業の指定を受け、更なるスポーツ振興を図っていききたい。

◎山本 登 (県教委体育課長)

県のスポーツ行政の立場から、スポーツの現状、今後の施策について発言があった。「生涯スポーツプラン」に基づいて、県民が気軽に参加できる大会の開催、指導者の養成確保、公共スポーツ・学校体育施設の開放、活動場所の確保、スポーツ組織の育成強化、「2000年とやま国体」の開催、準備などを行っている。今後は、「生涯スポーツ社会」の実現に向けて、「みるスポーツ振興」などスポーツのクオリティ(質)の向上をめざした振興策を展開していきたい。

◎井出 妙子 (スケート選手)

スケートとの出会い、美しい自然の中での活動のこと、子どもと自分との競走、家族と地域の方々との楽しい仲間づくり等、楽しく、生き生きとスポーツを続ける幸福感を体験を通して発言。

◎小山由美子 (奥田婦人バレーボールクラブ)

昭和42年5月から校下住民の愛好者から出発したバレーボールクラブの結成。目的はチャンピオンスポーツでなく、婦人の体力づくり、地域住民のコミュニケーションが主な目的、声を出し、励まし合い、快い汗を流し、若さと健康を保つための頑張り、結成25周年記念大会の開催、県教委表彰、文部大臣表彰等受賞、地域に密着した楽しいスポーツクラブとして活動していきたい。

◎玉木 興正 (県生涯スポーツ協議会副理事長)

生涯スポーツ協議会の現状と課題、そして未来像について幅広く発言。生涯を通じてスポーツに親しみ、豊かな生活を実感し、確保することにあるとして、活動内容の紹介から今後の課題、そして人生80年の余暇時間の増大に対する自己実現のこと、豊かな人生へのデザイン、健康へのパフォーマンス、環境-自然-エコロジーへの視点、又自然に恵まれた富山県の再認識。アウトドアスポーツのメッカ、情報の発信地となることなど、未来像を語る。

◎コーディネーター大橋教授のまとめ

ヨーロッパと日本のスポーツクラブを対比しながら、今後のスポーツ振興策の大きな柱となる総合型のスポーツクラブについて発言。イギリスのバッキンガム県のウィッカムスポーツセンターの紹介があった。

施設のネットワークと総合型スポーツクラブの施設の内容として、温水プール、幼児用プール、高飛び込み専用プール、バドミントンコート8面、冷暖房付体育館、テニスコート、屋内球技場、ロンボール場、クライミングウォール、トレーニングジム、バー、カフェテリア、温水シャワー、どんなスポーツでも気軽に楽しめる施設設備、学校が使用する場合、小さな子どもからメンバー制のこと、そして、フリーカード発行、コンピューター管理で個人のデータからスポーツ人口が簡単に把握できること、個人が自由にやりたいことが、いつでも、楽しく出来るシステム、集団的スポーツ、個人的スポーツ、ゲーム、遊びなど、何時でも仲間に入って楽しんだり、汗を流したり、サウナやシャワーをあびて気持ちよく、バーやカフェテリアで一杯やりながら仲間同士が楽しんで帰る。スポーツレクリエーションならではの楽しさを味わうことができる施設になっている。

富山県では、福野町をはじめ総合型スポーツクラブの発信県、発信地としてこれから大いに飛躍していただきたいと思うと、まとめの発言があり、将来の県生涯スポーツへの方向を示された。



豊かなスポーツライフを考える

＝スポーツとの出会い、交流、そして広がり＝

コーディネーター
シンポジスト

岡山大学教授
元関脇・麒麟児
福野町長
富山県教育委員会体育課長
スケート選手
奥田婦人バレーボールクラブ
富山県生涯スポーツ協議会副理事長

大橋美勝
北陣和春
溝口進
山本登
井出妙子
小山由美子
玉木興正



第5回
富山県民スポーツ・レクリエーション祭夏季大会

各競技で熱戦が繰り広げられました。



各コート熱戦のソフトバレーボール
“着地に注意”



綱一筋に力がこもる
男女混合綱引“相手は誰？”



“ナイスショット”グリーンで楽しむ
ターゲット・バードゴルフ

行事

項目	日時	場所
第9回全国スポーツ・レクリエーション祭	11月2日(土)～5日(火)	群馬県一円
指導者派遣事業	4月～平成9年3月	県内各種会場
ニュースポーツ普及推進事業	4月～平成9年3月	各地区
第5回富山県民スポーツ・レクリエーション祭 冬季大会「雪のシンフォニー」	平成9年2月9日(日)	大沢野町
生涯スポーツ協議会指導者講習会	平成9年3月8日(土)	富山県総合体育センター